

ふかしの 議会だより



美郷中学校第六期生入学式

2 地方交付税^{せんげん}漸減の期間に入る

6 どう使う153億8164万円

定例会概要	2
予算概要	4
全体質疑	6
委員会審査	9
一般質問	14
請願・陳情	19
読者の声	23
キラリ美郷人	24

ぜんげん 漸減の期間に入る 前年比4.3%減

地方交付税 一般会計107億471万円



多目的スペース整備予定地(湧太郎隣)



住民参加で植樹予定の平場の森(旧千畑南小グラウンド)



4月1日オープンの
宿泊交流館「ワクアス」
(旧仙南東小跡)



屋内スポーツ館
オープニングセレモニー
(旧千畑南小跡)

メリハリの ある 予算編成

2施設オープン
今年度周辺を整備

3月定例会を3月3日から16日までの14日間の会期で開催しました。審議した議案は、平成27年度一般会計予算など35議案。そのすべてを原案のとおり可決・同意しました。また、一般質問は、4議員が登壇して町政を質し、請願・陳情4件を採択、3件を不採択としました。

美 郷町が誕生して11年目を迎えました。合併特例債の期間が5年間延びたものの、国からの交付金が徐々に減らされる漸減の期間に入りました。

平 成27年度の一般会計予算の総額は107億471万円です。前年度当初比4.3%減となりました。

歳 入では、米価の下落、景気の低迷による所得水準の落ち込みなどにより町税を前年度比6.5%減の13億3890万円と見込みました。歳入のうち町税や基金からの繰入金などの自主財源は20.8%で、地方交付税や国・県支出金などの依存財源は、79.2%となっています。



中富良野町との協力協定を予定(ラベンダー園)



水道予算54.8%増



防火水道管更新
(六郷中央地区の
消火栓)

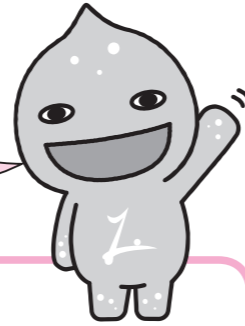
歳 出では、財政健全化に努める制度として認定こども園を条例化し看護師の配置・一時保育などの制度を継続するほか、各放課後児童クラブの対象年齢を6年生まで拡大し定員をそれぞれ30人増員することしました。また、水道水の安定供給のための施設統合や配管の接続など、第2次総合計画の初年度であることを踏まえ、計画推進を意識したメリハリのある予算編成となりました。

議 会最終日、3常任委員長の委一般会計予算を賛成多数(賛成15人・反対2人)で、国民健康保険・簡易水道事業・下水道事業・農業集落排水事業・後期高齢者医療の5特別会計を全会一致で原案のとおり可決しました。

美郷町の予算を家計に例えると・・・

美郷町の収入と支出

美郷町の平成27年度一般会計予算107億471万円を年収500万円の家計に例えてみたよ。



収入

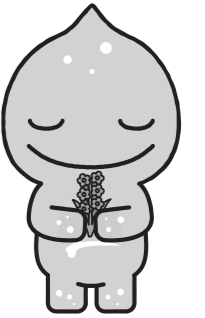
	27年度	26年度
給与	630,500円 (12.61%)	675,500円 (13.51%)
うち基本給(町税)	625,500円 (12.51%)	640,000円 (12.80%)
うち諸手当(分担金及び負担金)	5,000円 (0.10%)	35,500円 (0.71%)
パート収入(使用料・手数料など)	101,500円 (2.03%)	66,000円 (1.32%)
親からの仕送り	3,494,000円 (69.88%)	3,432,000円 (68.64%)
(うち国庫・県支出金など)	797,000円 (15.94%)	824,000円 (16.48%)
(うち地方交付税など)	2,697,000円 (53.94%)	2,608,000円 (52.16%)
貯金の取り崩し(繰入金)	81,000円 (1.62%)	123,000円 (2.46%)
借金(町債)	465,000円 (9.30%)	489,500円 (9.79%)
その他(諸収入や貸付金にかかる返済金など)	228,000円 (4.56%)	214,000円 (4.28%)
合計	5,000,000円 (100%)	5,000,000円 (100%)



貯金残高

年収500万円に対して240万2千円
(26年度は237万4千円)

給料やパート収入だけではお金が足りないんだ。
だから親からの仕送り(地方交付税など)も必要だし、借金(町債)もしなければならぬんだ。
今までに借りたお金はかなり返済してきたんだけど、医療費や福祉関係の負担が増えているんだ。



支出

	27年度	26年度
食費 (人件費) 職員の給与・議員や委員の報酬など	865,000円 (17.30%)	847,000円 (16.94%)
家族の医療費 (扶助費) 福祉や医療に対する支援など	453,000円 (9.06%)	476,500円 (9.53%)
借金の返済 (公債費) 借入金の返済など	625,500円 (12.51%)	614,500円 (12.29%)
光熱費などの雑費 (物件費・補助費等) 公共施設の管理経費や 各種団体等の負担金、補助金など	2,189,000円 (43.78%)	1,943,000円 (38.86%)
子どもたちへの仕送り (繰出金) 他の会計への繰出金	304,500円 (6.09%)	275,000円 (5.50%)
家の増改築費や修理費 (普通建設事業費) 道路や学校、公共施設などの 建設経費	482,500円 (9.65%)	734,000円 (14.68%)
貯金 (積立金) 将来のために残しておくお金など	1,500円 (0.03%)	31,500円 (0.63%)
その他 (貸付金、災害復旧費、予備費)	79,000円 (1.58%)	78,500円 (1.57%)
合計	5,000,000円 (100%)	5,000,000円 (100%)



借入金残高

年収500万円に対して533万6千円
(26年度は518万6千円)

どう使う

153億8164万円

一般会計予算

歳入

町民税の減額は

泉(美)議員 町民税減額の内訳は。
税務課長 前年対比農業所得30%、税額で1370万円。給与所得5%、税額で3918万円。それぞれ減額と見込んだ。

売り払う土地は

村田議員 売り払う土地はどこか。また、立木売却収入は今後も見込めるのか。
総務課長 土地は昨年解体し

歳出

ワクアス杯は

飛澤議員 ワクアス杯の具体は。
生涯学習課長 ミニバスケットボールとフットサルの県内交流試合を予定している。

ワクアスのPRは

飛澤議員 ワクアスのPR計画は。
生涯学習課長 大会誘致や合宿誘致をするためのダイレクタメール発送や、宿泊体験などを計画している。

食事代を補助する

深沢(義)議員 合宿応援事業補助金40万円の内容は。
生涯学習課長 延べ10泊以上合宿する団体の食事代補助で、ワクアスを利用し、町内のスポーツ施設や文化施設を利用する場合に、1泊1人当り2分の1、上限1000円を補助し、団体の上限を10万円とした。
※延べ10泊〓宿泊日数×人数

企画財政課長 くわしく伝えるよう努める。

長寿祝い金の対象は

飛澤議員 今年の長寿祝い金贈呈予定者は何人で、10年以上在住しないと対象にならないか。
福祉保健課長 10年以上の在住者が対象で、今年度は88歳が186人、100歳が12人

である。

湧水保全全国大会は

深沢(義)議員 平成28年度開催予定の湧水保全フォーラム全国大会の内容は。
住民生活課長 全国の水環境保全に取り組んでいる団体の事例発表などを行い、200人から300人の参加を予定している。

ふるさと納税特産品は

泉(美)議員 ふるさと納税制度の寄付促進策としての特産品充実の内容は。
企画財政課長 具体的内容は今後の検討となるが、町の特産品をPRする形で選択肢を広げていく。

使い道を

深澤(均)議員 ふるさと納税をしていただいた方々に使い道を知らせることも大事と思うが。



ふるさと納税記念品の一例

3月9日、平成27年度一般・特別会計予算の全体質疑を行いました。その主な内容を要約してお伝えします。また議会最終日に行われた採決での討論を掲載します。



各種大会・合宿誘致で利用されるワクアス体育館



平場でのききょう栽培

農家圃場で試験栽培する

熊谷(隆)議員 薬用植物栽培の今後の見通しは。
農政課長 新たに農家の圃場で甘草、ききょうの試験栽培を実施し、勉強会を開くなど転作作物としてむすびつけた

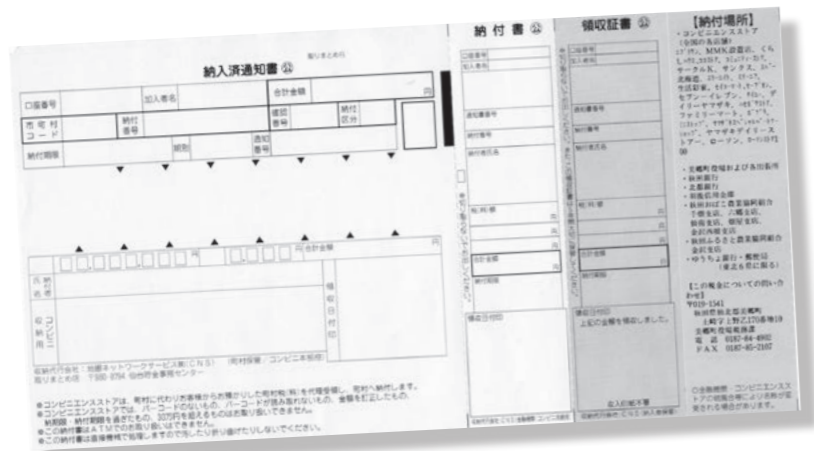
平場でも可能か

熊谷(隆)議員 ききょうの栽培は平場の水田でも可能か。
農政課長 26年度に平場の花き農家で栽培したが、発芽が悪かった。どのようなほ場が適するのかわかりませんが、栽培などの試験を重ね、平場での栽培にむすびつけたい。

総務常任委員会

コンビニ納付すべてが対象

3月10日、総務常任委員会を開催し、本会議で分割付託された、「平成27年度一般会計予算」を審査しました。その結果全会一致で可決すべきものとなりました。以下主な質疑を要約してお伝えします。



コンビニでも使用できる納付書

48件の申し込みがある

村田議員 農林漁業振興対策基金事業補助金の内容は、**農政課長** 県の事業に町が嵩上げる事業で、5つの応援事業がある。夢プラン事業38件など合わせて48件の申し込みがあり、3分の1から2分の1の補助となる。

民家も対象とする

泉(美)議員 空き店舗対策事業補助金を、新たに空き店舗以外でも活用できるとのことだが内容は、**商工観光交流課長** 経営に役立てられるものであれば、民家も対象とする。

3分の2補助する

泉(美)議員 特産品開発事業、パッケージデザイン支援事業の内容は、**商工観光交流課長** 特産品開発には、実費の3分の2以内上限30万円。パッケージデザイン支援には、デザイン料の

3分の2以内、上限20万円を支援する。

観光バスの駐車場

泉(美)議員 湧太郎多目的スペース工事の内容と活用は、**商工観光交流課長** 観光バスの駐車場やイベントなどに活用したい。

英語宿泊研修の内容は

深沢(義)議員 中学校英語宿泊研修補助金の内容は、



夢プラン事業を活用した、しいたけ菌床栽培

教育次長兼教育推進課長

2年生を対象に2泊3日の研修で、福島県天栄村にあるブリティッシュヒルズを計画している。補助金は、一人当たり費用の2分の1、2万円を予定している。

横手市での開催

熊谷(良)議員 今年度の市町村対抗全県駅伝開催地は、**生涯学習課長** 横手市を会場に開催される。

歳入

熊谷(良)委員 国民健康保険税のコンビニからの納付の状況は、

税務課長 昨年7月から納付できたが、あまり浸透していないようだ。今年から固定資

産税、住民税、国保税などすべてが対象となるので利用しただけだ。

地方交付税の見通しは

高橋委員 今後5年間の地方交付税の見通しは、

歳出

人事評価の研修は

藤原委員 人事評価の研修とは何か。
総務課長 基本的に評価者と被評価者の研修で、今年度は現業職についても実施する。

27年度一般会計予算

反対討論

泉(美)議員 町が取り組む住民生活向上のための施策の多くに反対するものではないが、住民の暮らしが厳しくなる中での介護保険料の引き上げや、プライバシーの保護が危惧されるマイナンバー制度に関係する予算も含まれており賛成できない。

賛成討論

杉澤議員 歳入では、農業所得の落ち込みや普通交付税の一本算定に伴う減額を踏まえて計上され、町債ではプライマリーバランスに留意している。歳出では、財政健全化の取り組みとして消耗品などは、平成25年度決算比10%減とするなど財政負担の軽減に努めている。また、政策的経費では重点的に取り組む施策について、積極的に財源の配分がされている予算編成となっており賛成する。

1000万円削減

高橋委員 漸減期間を想定した物品のコスト削減の取り組み状況は、
企画財政課長 平成25年度比物品費を10%、約1000万円を削減した。

単独開催を予定

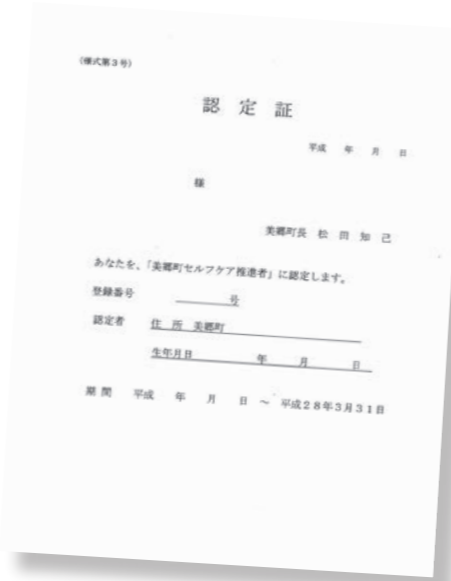
高橋委員 美郷フェスタでの町の日功労者表彰の来場者が少ないが、受賞者に配慮し、開催日時や会場を検討すべきでないか。
総務課長 今年度は、美郷フェスタと同時開催ではなく、役場庁舎内での単独開催を考えている。

セルフケアを推進

一般会計

泉(美)委員 セルフケア推進内容は、また、北都銀行との連携による利用者はどれくらいになっているか。

に体脂肪計や血糖測定計を設置し、保健師が相談にあたる。また、セルフケア推進者認定証は20人に交付しており、うち北都銀行との提携による、預金やローン利用者は12人で現在も微増している。



セルフケア推進者認定証

3月12日、教育民生常任委員会を開催し、本会議で分割付託された平成27年度一般会計予算と、国民健康保険・後期高齢者医療特別会計予算を審査しました。その結果、一般会計予算は賛成多数(賛成4反対1)で、特別会計は全会一致で可決すべきものとなりました。以下、主な質疑を要約してお伝えします。

マイナンバー制度は

熊谷(隆)委員 戸籍システム更新委託料と、マイナンバー制度との関連は。

住民生活課長 マイナンバー制度では、マイナンバーカードの暗証番号を登録する公的個人認証タッチパネルを新たに導入するが、システム更新委託料は基本ソフトの更新だ。

設置場所は

泉(繁)委員 耐震性貯水槽の設置場所は。また、除排雪報償費の内容は。

住民生活課長 耐震性貯水槽は千畑地区の水道未普及の地域に設置予定だ。除排雪報償費はポンプ車庫前、消火栓などの除排雪を、各分団から実施してもらうための経費だ。

国民健康保険特別会計

生活習慣病の増加

泉(美)委員 医療費が高い理由は。福祉保健課長 加入者の高齢化による生活習慣病の増加が原因である。

介護保険料は

泉(美)委員 広域介護保険事業負担金の増額分は何か。また、改正後の介護保険料は。福祉保健課長 低所得者の軽減分を公費で負担するため増額になる。また、保険料は、改正後6100円となる。

緊急時対応

村田委員 AED借り上げ台数は。また、購入した場合と比較してどうか。教育総務課長 各小学校に2台ずつ計6台。借り上げた方が、メンテナンスや緊急時対応がよい。

一般会計

飛澤委員 南除雪センター第一車庫建築工事の内容は。建設課長 南除雪センター奥の車庫が老朽化しており、事務所の北側に建設する。解体は28年度以降を予定している。

上限5万円を補助

武藤委員 資格取得サポート事業の内容は。商工観光交流課長 60歳未満の求職者で厚生労働大臣指定

の教育訓練講座対象資格の取得者に対し、上限5万円で実費の2分の1を補助するものだ。

出動状況は

澁谷委員 鳥獣被害対策実施隊の報酬内訳と昨年の出動状況は。

農政課長 報酬は年2万7千円で、31人分を計上した。熊の捕獲許可は10回で6頭を捕獲、カラス駆除の許可は3回で116羽を捕獲している。

なぜ対象外

深沢(義)委員 青年就農給付金の対象者数は。また昨年の相談者数と対象外となった理由は。

農政課長 今年度の対象者は、新規1人を含む7人を見込んでいる。昨年の相談者は6人で4人が対象外となった、その主な理由は、農地の所有問題や5年後の所得目標の達成が見込めないためである。

マット交換を

武藤委員 大台野グラウンドゴルフ場のマットが老朽化しているが、交換予定はあるか。商工観光交流課長 多方面から交換の要望があり予算計上している。

農業集落排水事業特別会計

策定内容は

澁谷委員 汚水処理施設整備

簡易水道事業特別会計

構想策定業務の内容は。建設課長 人口減少問題などの課題があるなかで、今後とも維持管理に支障がないかなどの基本的考えを策定するものだ。

接続しだい供給

飛澤委員 六郷・畑屋地区の水道統合により本管を接続した場合、給水はすぐ可能か。建設課長 接続しだい供給する。

賛成討論

飛澤委員 簡易水道事業の推進とあわせ、消火栓設置などの住民要望にも配慮した予算であることから賛成する。

南除雪センター車庫を新設

3月12日、産業建設常任委員会を開催し、本会議で分割付託された平成27年度一般会計予算と、簡易水道・下水道・農業集落排水事業特別会計予算を審査しました。その結果、一般・特別会計とも全会一致で可決すべきものとなりました。以下、主な質疑を要約してお伝えします。



解体予定の南除雪センター車庫



リリオスでの町ユニカール大会

条例・補正予算質疑

いきいきスポーツ健康のまち宣言

初日に同意した案件以外の議案について、3月6日、質疑・討論・採決しました。以下主な議案の内容と質疑を要約してお伝えします。

いきいきスポーツ健康のまち宣言

内容 町民が、健やかで心豊かに暮らすことを願い、スポーツを通じて健康を育み、元気でいきいきとした町を目指すための宣言です。

深沢（義）議員 セルフケアなどを含めた条例制定の考えはなかったか。
また、宣言周知の仕方と宣言の場をどうするのか。

生涯学習課長 この宣言は、町民全体で取り組んで、理念の共有を図ることを目的としている。条例ではなくみんなに親しんでいただける宣言で進めていきたい。

周知については、体育館や各種体育団体などの総会の資料に掲示をお願いする。また、チャレンジデーや町が主催する大会などで宣言を読み上げるなど、さまざまな形で浸透を図っていきたい。

認定こども園設置条例の制定

内容 教育・保育などの総合的な提供の推進を図るため、幼稚園・保育園を認定こども園とするものです。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の制定

内容 認定こども園にしたことにより利用者負担額を新たに定めるものです。

金額は変わらないか、安くなる。
すこやか子育て支援事業支給要綱の中でそれぞれの事例によって減免が適用される。災害や失業などによる減免はその都度、対応する。

放課後児童健全育成事業利用者負担等に関する条例の制定

内容 学童保育の利用者負担額を新たに定めるものです。

負担軽減か

泉（美）議員 階層区分が、所得割課税になることにより、保護者負担が軽減されるか。
また、減免規定は、どのような場合に適用されるか。
教育総務課長 それぞれの所得階層において保護者負担の

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

内容 教育長を一般職から特別職に変更するものです。

平成26年度一般会計補正予算

歳入歳出からそれぞれ1億2825万7千円を減額し、総額を116億5479万5千円としました。主な内容は各事業費の確定や実績見込みによる減額、畜産競争力強化対策緊急整備事業補助金の追加による増額などです。

周辺地域への影響は

熊谷（隆）議員 100頭規模の酪農経営となると堆肥や汚水の処理などで、周辺地域に影響が出ないか懸念がある。
農政課長 畜舎建設予定地は比較的民家に近いところである。地域の方々の不安をなくす方向で検討していく。

啓発に力を入れる

深澤（均）議員 予防接種とガン検診などの予防費委託料が3000万円ほど減額とな

つたのはなぜか。
福祉保健課長 不足が出ないよう最大限の予算を見込んで計上した結果、減額となった。これまで、さまざまな方法で丁寧に説明してきたが、今後も引き続き啓発に力を入れていきたい。

申し込みが3件

熊谷（隆）議員 耐震診断・太陽光発電システムの補助金が減額となったのはなぜか。
建設課長 耐震診断は、申し

込みがなかった。太陽光発電には、90万円の予算に対して3件・54万円の申し込みがあった。

寄付金の内訳は

深澤（均）議員 ふるさと納税寄付金32件の内訳は。
企画財政課長 3分の2は、県外の方で、多くの方が、子どもたちの教育のために使ってくださいとのコメントを寄せてくださっている。

新町建設計画の変更

内容 合併特例債の期間が延長されたので、それに合わせ建設計画を平成31年までに変更するものです。

簡易水道設置条例の一部改正 簡易水道給水条例の一部改正

内容 畑屋地区、六郷西部地区、六郷東部地区を統合して六郷畑屋地区とし、加入金の額を定めるものです。

人事

「教育委員会教育長の選任」

右記の条例改正に伴い、平成27年4月1日から始まる新制度の教育委員会教育長に、次の方を選任することに同意しました。



福田 世喜氏 (寺田)



ふるさと納税のパフレット

第2次町づくり総合計画は

町長「ステップアップした町づくり」



村田 薫 議員

議員 平成17年度に策定された第1次美郷町総合計画が26年度に終了する。主眼とした人口2万1千人を確保し、各施策に対する満足度調査でも、全施策が満足や満足で90%を超え、評価すべきものと考ええる。

さて、平成27年度を初年度とする第2次美郷町総合計画の策定にあたり、第1次総合計画の課題検証や評価、それに町づくり町民アンケート調査結果などを第2次総合計画にどのように活かしているのか。また、PDCAサイクルを活用したステップアップした町づくり計画になっているか。

また、計画を実現するための財政的裏付けはどうなっているのか見解をうかがう。

町長 平成17年度に策定した第1次美郷町総合計画においては、町の将来像を「町民のだけれど住んでよかった、住みつけたいと思える町」と定め、各般にわたる施策を展開し、数回にわたる満足度調査も行ってきた。

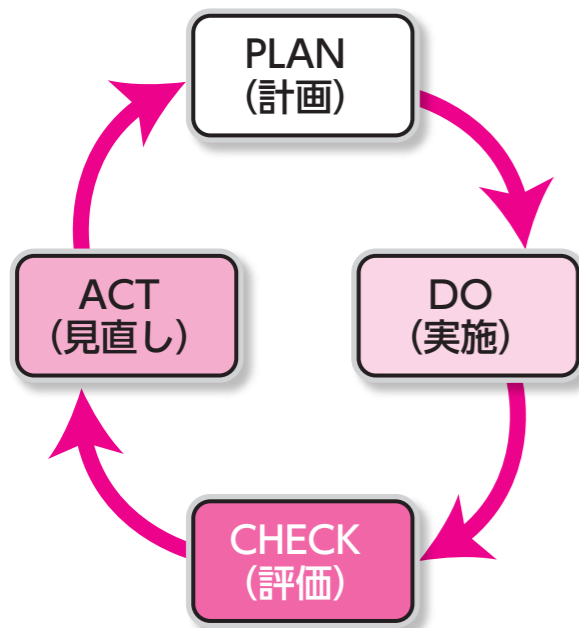
第2次総合計画策定にあたっては、目指すべき町づくりアンケートにおいて、町民意識の高かった「豊かさ」「快適さ」「活力」を策定の基本

理念に据え、PDCAサイクルを意識し、ステップアップした町づくりを基本認識として計画策定を進めている。

財政見直しについては平成27年度から普通交付税が漸減されるなど、町の財政環境は楽観できる状況ではない。

しかし、これまで取り組んできた公共施設再編や、合併当初に比較して37億6千万円余りの基金の積み増しなど、将来の町づくりに備えてきた

ところであり、今後は、国の交付金など特定財源の確保に意を払いながら、基金や有利な起債の効果的な活用をもって各般の事業を進めたい。



PDCAサイクル

一般質問

4議員が

6項目を質す

ただ

質問者

- 村田 薫 議員**
◇第2次美郷町総合計画について
- 細井 邦男 議員**
◇心の教育について
- 泉 美和子 議員**
◇国保税の引き下げを
◇子どもの医療費無料化の拡充を
- 熊谷 隆一 議員**
◇水環境保全について
◇今後のプロジェクト事業推進は

3月11日の本会議において一般質問が行われ、4議員が6項目にわたって質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約しお伝えします。

心の教育の位置づけは

教育長「全教育活動の根幹として推進」

議員 今、全国で悲惨な少年犯罪が発生していることには大変心が痛む。学校教育の中で「心の教育」について、社会全体から関心が向けられている。

「心の教育」に対する町の学校教育への位置づけと基本方針についてうかがう。

を交わす授業を展開し学級づくりの充実に努めている。方針の二つ目として、子どもたちがさまざまな体験を通して、人間性を育成することに力を入れている。そのため小学校では、動植物の飼育や栽培、中学校では、福祉施設などでの職場体験や乳幼児とふれあう活動、高齢者宅での除雪ボランティアなどを実践している。

このような、基本的な方針を推進し、子どもたちが未来にむかって遅く成長していくことを目指している。



中学生と幼児のふれあい活動

教育長 教育委員会としては、学校教育での心の教育は、全教育活動の根幹をなすものと考え、豊かな人間性を育み、将来の美郷を担う人間の育成を教育理念として教育活動を推進してきた。

六郷小学校では、心の力と書く「心力」。千畑小学校では「心の輪」、仙南小学校では「他を思いやる豊かな心」などの育成に取り組んでいる。

心の教育に対する町の具体的な方針の一つ目として、道徳の時間に心に寄り添うというテーマの資料を用い、思いやりについて教え互いに意見を

方針の三つ目として、教育の原点である家庭教育の充実をはかるため、学校・家庭・地域社会が連携して心豊かな児童・生徒を育成する取り組みをしている。また、地域の行事に子ども達も参加し、他者によりよく関わる力を高め、いくことも重視している。

幼児・児童を対象としている。現在の町の取り組みが、県制度の対象となるよう求めている。

国保税の引き下げを

町長「制度外繰入が増額になり、難しい」



泉 美和子 議員

議員 国民健康保険税の2年連続の引き上げは国保加入者の家計を圧迫している。新年度は国保税を引き下げし、住民負担軽減を図るべきだ。国は新年度から低所得者対策としての保険者支援金を予算化した。予算にどう反映されているのか。

町長 国保税の加入者は高齢者や低所得者層が多い状況にあるので、平成25年度から制度外である一般会計からの繰り入れを行い、負担の軽減を図ってきた。今後は地方交付税が縮小されることを考える

と、制度外繰入の増額による保険税引き下げは難しい。低所得者対策は、対象世帯数を前年度並みと見込んでいる。今後は推移を見ながら対応する。

子どもの医療費無料化の拡充を

議員 子どもの医療費無料化制度を中学卒業まで拡大するよう求める。

また、県に所得制限と、自己負担の撤廃など制度拡充を求めていくべきだと考えるが見解をうかがう。

町長 中学生まで拡大し、入院・通院全てを無料化した場合、一般会計において財政負担が生じる。今後、地方創生のなかで福祉医療の拡大充実の要否を考えていく。

県の福祉医療制度は小学生までとしているが、町では単独で所得制限を撤廃し、全乳



細井 邦男 議員

一本化した新たな団体の設立は

町長「予定している実行委員会が相当か」

議員 水環境保全にかかる学習活動促進のための団体について、次の3点をうかがう。
 ①現在どのような団体があるのか。
 ②その団体の活動内容について。
 ③町内を一本化した新たな団体を設立する考えはないか。

町長 水環境保全は、特定の者が取り組むというよりは、町全体としてその認識を持って、町民協力のもとで各般の取り組みが、進められるべきであると認識している。

度内に設立する。この実行委員会が、今後の水環境保全にかかる全体的な組織に発展する可能性を含んでいると認識している。

今後のプロジェクト事業推進は

議員 これまで、まちづくり戦略プロジェクト事業を推進してきたが、一定の効果が現れていると感じる。今後、人口減少や主力作物である米の問題などについて、町職員以外のメンバーも加えてプロジェクト事業を行う考えはないかがう。

町長 現在、策定を進めている「第2次美郷町総合計画」に基づき進める。計画構想を



久米清水



岡田家清水

①町で把握している団体は、土崎自治会・北小屋ボランティア・トゲウオを守る会・大畑自治会・天神堂行政区の5団体と、清水周辺環境保全事業実施モデル団体である、宝門町町内会・大町清らか四水会・清水愛護会・古町町内会の4団体がある。
 ②イバラトミヨやホテルなどの、生息環境の保全や清水内の堆積物の撤去、清水周辺の清掃活動などである。
 ③平成28年度に湧水保全フォーラム全国大会の開催を予定しており、実行委員会を27年

3月定例会 請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

◇農協改革に関する請願書（全員賛成）

秋田おばこ農業協同組合 代表理事組合長 藤村 正喜 他1名
 紹介議員(注1) 熊谷隆一、杉澤隆一

請願理由 政府は農協改革の推進を決定した。これに対しJAグループは、組合員の意思に基づく自己改革に取り組むこととし「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として農業所得増大、地域の活性化に取り組むことが基本方向であると結論づけたので、政府に対し請願事項について働きかけをお願いする。

(注1) 議会に請願書を提出する場合は議員の紹介がなければなりません。「紹介」とは請願の内容に賛意を表し、議会への橋渡しをすることです。

◇最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情（全員賛成）

秋田県春闘共闘懇談会 執行委員長 中村 秀也 他1名

◇労働時間法制の規制強化と安定雇用の確立を求める陳情（全員賛成）

秋田県春闘共闘懇談会 執行委員長 中村 秀也 他1名

◇介護報酬の引き下げに反対し、介護事業所の経営安定と介護労働者の処遇改善をめざす陳情（全員賛成）

秋田県春闘共闘懇談会 執行委員長 中村 秀也 他2名

不採択としました

◇「集団的自衛権行使を容認した閣議決定に反対し、撤回を求める意見書」の採択等を求める陳情書（採択4人 武藤議員・泉(美)議員・細井議員・飛澤議員：不採択13人）

秋田弁護士会 会長 加藤 謙

◇集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回を求める陳情書（みなし不採択）(注2)

秋田・戦争をさせない1000人委員会 代表 山縣 稔

(注2) 同一会期中に同一趣旨の陳情等が議決されている場合、既になされた議決の結果により、「不採択」とみなして処理する取り扱いです。

〈総務常任委員 長報告〉
 中村委員長
 昨年の12月定例会でも同様の陳情を不採択としており、内容が変わらないので、不採択とすべきものとした。

〈採択意見〉
 泉(美)議員
 住民の平和的生存権を守り立憲主義を堅持するため、この陳情は採択すべきである。

◇沖縄県名護市辺野古新基地建設工事の中止を求める陳情書

(採択3人 武藤議員・泉(美)議員・飛澤議員：不採択14人)

秋田・戦争をさせない1000人委員会 代表 山縣 稔

〈総務常任委員 長報告〉
 中村委員長
 辺野古への移設はすでに動きだしており、不採択とすべきものとした。

〈採択意見〉
 泉(美)議員
 基地建設中止を求める沖縄県民の願いにこたえ、この陳情は採択すべきである。



熊谷 隆一 議員

第1回 議会臨時会提出議案一覧 (1/14)

議案第1号 平成26年度一般会計補正予算第11号 <全員賛成で原案可決>

第2回 議会臨時会提出議案一覧 (2/12)

議案第2号 工事請負契約の一部変更について <全員賛成で原案可決>
 議案第3号 平成26年度一般会計補正予算第12号 <全員賛成で原案可決>
 議案第4号 平成26年度国民健康保険特別会計補正予算第4号 <全員賛成で原案可決>

第3回 議会定例会提出議案一覧 (3/3~3/16)

議案第5号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて <全員賛成で原案可決>
 議案第6号 町道の認定について <全員賛成で原案可決>
 議案第7号 町道の廃止について <全員賛成で原案可決>
 議案第8号 新町建設計画の変更について <全員賛成で原案可決>
 議案第9号 いぎいぎスポーツ健康のまち宣言について <全員賛成で原案可決>
 議案第10号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について <全員賛成で原案可決>
 議案第11号 町立認定こども園設置条例の制定について <全員賛成で原案可決>
 議案第12号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の制定について <全員賛成で原案可決>
 議案第13号 放課後児童健全育成事業利用者負担等に関する条例の制定について <全員賛成で原案可決>
 議案第14号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について <全員賛成で原案可決>
 議案第15号 法定外公共用財産の使用等に関する条例の一部改正について <全員賛成で原案可決>
 議案第16号 簡易水道設置条例の一部改正について <全員賛成で原案可決>
 議案第17号 簡易水道給水条例の一部改正について <全員賛成で原案可決>
 議案第18号 保育の実施に関する条例の廃止について <全員賛成で原案可決>
 議案第19号 簡易水道事業特別会計への繰入額について <全員賛成で原案可決>
 議案第20号 下水道事業特別会計への繰入額について <全員賛成で原案可決>
 議案第21号 農業集落排水事業特別会計への繰入額について <全員賛成で原案可決>
 議案第22号 平成26年度一般会計補正予算第13号 <全員賛成で原案可決>
 議案第23号 平成26年度国民健康保険特別会計補正予算第5号 <全員賛成で原案可決>
 議案第24号 平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算第6号 <全員賛成で原案可決>
 議案第25号 平成26年度下水道事業特別会計補正予算第4号 <全員賛成で原案可決>
 議案第26号 平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算第4号 <全員賛成で原案可決>
 議案第27号 平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算第4号 <全員賛成で原案可決>
 議案第28号 平成27年度一般会計予算 <賛成15人 反対2人で原案可決>
 議案第29号 平成27年度国民健康保険特別会計予算 <全員賛成で原案可決>
 議案第30号 平成27年度簡易水道事業特別会計予算 <全員賛成で原案可決>
 議案第31号 平成27年度下水道事業特別会計予算 <全員賛成で原案可決>
 議案第32号 平成27年度農業集落排水事業特別会計予算 <全員賛成で原案可決>
 議案第33号 平成27年度後期高齢者医療特別会計予算 <全員賛成で原案可決>
 同意第1号 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて <全員賛成で原案可決>
 発議第1号 議会委員会条例の一部改正について <全員賛成で原案可決>
 発議第2号 農協改革に関する意見書の提出について <全員賛成で原案可決>
 発議第3号 介護報酬の引き下げに反対し、介護事業所の経営安定と介護労働者の処遇改善をめざす意見書の提出について <全員賛成で原案可決>
 発議第4号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について <全員賛成で原案可決>
 発議第5号 労働時間法制の規制強化と安定雇用の確立を求める意見書の提出について <全員賛成で原案可決>

第4回 議会臨時会提出議案一覧 (3/26)

議案第34号 平成26年度一般会計補正予算第14号 <全員賛成で原案可決>
 議案第35号 平成27年度一般会計補正予算第1号 <全員賛成で原案可決>

議案採決結果

採決で賛否が分かれた議案を掲載しています。この他は、全員賛成で可決しました。

議長は採決には加わりません。

○：賛成 ●：反対

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	
議員名	澁谷 俊二	鈴木 良勝	伊藤 福章	中村美智男	村田 薫	泉 繁夫	深澤 均	武藤 威	泉 美和子	細井 邦男	熊谷 隆一	藤原 政春	飛澤龍右工門	森元 淑雄	熊谷 良夫	杉澤 隆一	深沢 義一	高橋 猛		
◎平成27年第3回議会定例会																				
議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

第4回臨時会

美郷プレミアム商品券

プレミアム率30%

6月発行予定

「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」関連事業については次のとおりです。

地域消費喚起・生活支援型

- ①美郷プレミアム商品券（プレミアム率30%）
- ②美郷に泊まろう宿泊券（プレミアム率43%）
- ③多子世帯応援プレミアム商品券（プレミアム率50%）

地域創生先行型

- ①安定した雇用を創出する事業
- ②新しい人の流れをつくる事業
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する事業



10,000円で13,000円分のお買い物

3月26日、第4回臨時会を開催し、平成26年度一般会計補正予算、平成27年度一般会計補正予算を審議し原案を全会一致で可決しました。事業を前に倒して実施するもので、平成26年度一般会計に1億3127万3千円を追加して総額を117億8606万8千円とし、それに伴い、平成27年度一般会計を1721万7千円減額して総額を106億8749万4千円としました。

第2回臨時会 大曲工業高等学校への 寄付金などを追加

2月12日、第2回臨時会を開催し、町屋内球技場整備工事の契約金額を減額しました。また、平成26年度一般会計補正予算を審議し原案を全会一致で可決しました。主な内容は、第87回選抜高等学校野球大会に出場する大曲工業高等学校への寄付金などの追加で、平成26年度一般会計予算の歳入・歳出それぞれに615万4千円を追加して総額を117億8305万2千円としました。

第1回臨時会 除排雪経費などの追加

1月14日、第1回臨時会を開催し、平成26年度一般会計補正予算を審議、原案を全会一致で可決しました。主な内容は、道路などの除排雪に要する経費などの追加で、平成26年度一般会計予算の歳入・歳出それぞれに1億3395万2千円を追加して総額を117億7689万8千円としました。

読者の声

毎回たくさんのクイズのご応募ありがとうございます。これまでご応募いただいた中から、議会や議会だよりに寄せられたご意見・ご感想の一部を掲載します。

子供たちの20年、30年後を考えてみさとを住みよい町にするための議会であってほしいです。笑顔で成長していく子供たちをみたいですね。

(50代 女性)

美郷町のため、お仕事ご苦労様です。美郷町の隅々まで見回り願います。

(60代 女性)

議員の方々には色々な町内の様子を知ってもらい数々の審議をし、よりよい町になるようにがんばっていただきたいと思っています。

(50代 女性)

町議会行政視察研修でたくさんのことを学んできたと思います。美郷町の農業経営、町づくりにこれからはみんな有意義な生活ができることを望んでいます。寒くなりました。お体に十分気をつけてがんばってください。

(60代 女性)

町民に如何なる問いにも、はっきり、キッチリ答えられる議会運営を期待しております。

(60代 女性)

議会では質問者はどのようには決まりますか？任期中一回もない議員があるとも聞きますが。

(70代 男性)

みさと議会だより 第42号 クイズ 回答と当選者

★クイズ回答

【問1】 12月定例会で審議された議案の数は〇〇

→ 【回答】 25

【問2】 閉会中に3常任委員会で行われたのは〇〇〇〇調査

→ 【回答】 所管事務

◎クイズ当選者

抽選の結果、次の方々が当選しました。

久米 水菜 様 千葉 多加男 様

坂本 禮子 様

第3回議会のあり方・政策調査会

少子化問題について活発な意見



講師の小淵主幹

議会の今後のあり方などについて協議する「第3回議会のあり方・政策調査会」を1月27日特別会議室において開催しました。以下、主な内容を要約しお伝えします。

はじめに「地方自治の方向性と住民自治」と題し、県企画振興部市町村課行政班、小淵智昭主幹を講師に迎え講演していただきました。

地方議会が抱える課題として、住民の信頼感の低下・有権者との距離感の拡大・地方議員の高齢化・人口減少による議員のなり手不足等々、多くの課題が挙げられました。また、地方議会制度改革については、職を有している人(サラリーマン等)も議員活動ができる仕組みや、なりたい人が立候補しやすい仕組みに変える必要性などについても説

明をいただきました。今後、議会のあり方を検討していく上で大変参考になりました。

次に、少子化対策における今後の進め方について協議を行いました。少子化問題については「働く場の創出が大事である」「子育て環境をより充実させることが大切だ」「若い方々の意見も聞く必要がある」など各議員から活発な意見が出されました。

この問題は全国的な問題で、簡単に解決できる課題ではないため、今後も最重要課題と位置づけて、議員それぞれが多方面にわたり研修や勉強会等を重ね、取り組んでいくこととしました。

表彰

◎全国町村議会議長会
自治功労者表彰



飛澤龍右工門議員
議員在職
15年以上



泉繁夫議員
議員在職
15年以上



高橋猛議長
議員在職
27年以上

◎秋田県町村議会議長会
自治功労者表彰



熊谷良夫議員
議員在職
23年以上



森元淑雄議員
議員在職
15年以上



熊谷隆一議員
議員在職
15年以上

シリーズ キラリ美郷人 vol.38

国際大会出場を目指して



ぐんま国体7位入賞（右端）

祖父が指導員、父は競技スキーの選手、そんな実祐さんが「気がついたら自分もスキーをしていた」というのは、ごく自然なことでした。

昨年の全国中学校大会で、回転3位、大回転11位と輝かしい成績を残し角館高校のスキー部に入った今冬も、1年生ながらインターハイ回転10位、国体大回転7位、全国高校選抜大回転8位など、数々の大会で入賞してい



みゆ 齊藤 実祐さん
角館高校2年生（元本堂北部）

ます。取材を申し込んだ3月上旬は北海道各地を転戦中で、お母さんを通しての取材となりました。

「スキーの魅力は——スピード感と、早い動きでリズムよくターンして滑るところです。」

「今の目標は——今シーズン、主要大会すべてで入賞できたのは嬉しかったが、どの大会も5位以内に入れず悔しい思いもしたので、来シーズンにはもっとレベルアップして、全国規模の大会で優勝を狙いたいです。将来はナショナル

ナルチームに入り国際大会に出場するのが目標です。

「家族に一言——家族全員で群馬国体の応援に来てくれて、それが力になりました。大好きなスキーに集中できる環境をつくってくれる家族にはとても感謝しています。」

目標をしっかりと見据え目標に向い努力している実祐さん、スキーでは滑り降りるけれど表彰台では一番高いところに昇りつめてほしいと思います。

クイズ

- 問1 いきいき〇〇〇〇健康のまち宣言
- 問2 美郷プレミアム商品券のプレミアム率は〇〇パーセント
- 〇に入る言葉や数字をお答えください

応募方法／ はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3人の方に粗品を差し上げます。
また、議会へのご意見などもお待ちしております。

あて先／ 〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10 美郷町議会事務局 議会だより係

締切日／ 平成27年5月15日（当日消印有効）

●次回定例会は、6月上旬を予定しています。傍聴をお待ちしております。